

～消費者注意情報～

エスカレーターでの思わぬ巻き込まれに注意
～キャリーバッグが手すりのベルトに巻き込まれて破損した～

(平成30年3月29日)

相談事例

デパートの下りエスカレーターを降りた直後に、右側に持っていたキャリーバッグがエスカレーターの手すりの下に巻き込まれた。エスカレーターが停止し、店員が二人掛かりで引っ張り出したが、バッグは壊れてしまった。一瞬だったのでどのように巻き込まれたのか分からない。(70歳代 女性)

ココに注意!・・・東京都消費生活総合センターからのアドバイス**★エスカレーターの手すりのベルトにキャリーバッグなどが接触しないよう注意しましょう。**

相談事例では、キャリーバッグの材質の一部がエナメル質のものであったため、ベルトと接触した時の摩擦力が余計に増し、キャリーバッグが巻き込まれたと考えられます。

キャリーバッグではなく、身体が接触した場合も、衣服の素材によっては身体ごと引っ張られる可能性があります。身体や持ち物が手すりのベルトに引っ張られると、バランスを崩し転倒する危険があります。エスカレーターを乗り継ぐ際、ベルトに接触しないよう十分に注意しましょう。



ベルトに接触して巻き込まれた

★エスカレーターを乗り継ぐときは、ショートカット（鋭角に曲がって移動）しないようにしましょう。

身体や持ち物が手すりのベルトに接触することを避けるため、ポールを置くなどして、歩行者がショートカット（鋭角に曲がって移動）できないようにしている施設も多く見かけます。エスカレーターを乗り継ぐときは、鋭角に曲がって移動することはせず、大回りするようにしましょう。ショートカットすると、場合によっては割り込むようになってしまい、他の人とトラブルになる場合もあります。

★事故にあったときは、消費生活センターに情報提供してください。

事故が起きた施設等に対し再発防止策の検討を申し入れるなど、事例によっては、事故の再発防止や商品・サービスの改良につなげることが出来る場合があります。商品・サービスによる事故にあったときは、消費生活センターに情報提供をしてください。

東京都消費生活総合センター
03-3235-1155 (相談専用電話)

<悪質事業者通報サイトへ情報をお寄せください>

すでに解決してしまった消費者相談情報や、窓口で相談するほどでもないけど困った経験をしたことがあるなどの情報をお寄せください。 <https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/tsuho/honnin-form.html>

寄せられた情報は、悪質事業者の指導や処分に役立つほか、都民の皆様への情報提供、啓発につながります。